



## 市長とランチミーティング

32

## 行政・地域・家庭が連携して冠鷲プロジェクトの推進を！

第32回「市長とランチミーティング」は2月28日（木）に

「石垣市教育委員・石垣市社会教育委員」の皆さんと行われました。

**中山市長** 日頃石垣市の子供たちについて色々と考えて頂いている皆さんと、石垣市の将来を担う子供たちの未来について話し合いたいと思っています。新空港も開港しますが、子供たちも大きく未来に羽ばたけるように、子供たちの夢も大きく伸ばしていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

**高木委員長** 本日は石垣市の児童生徒の将来像について自由に話し合

いをしていきたいと思えます。現在、冠鷲プロジェクトは2年目に入り子供たちの学力も着実に向上している状態です。それはやはり実践に基づいた考えが、学校現場や家庭に浸透してきていることが要因だと考えています。まだ道半ばですがこれから市長、教育委員、社会教育委員が石垣市の子供たちの為にどのような形で学力向上に取り組んでいけるのか一緒に考えていかなければならないと思います。また、学力だけ伸ばしてもダメです。やはり将来の石垣市を背負っていく人材としてしっかりとした人間に育っていけるような環境づくりをしていかなければいけないと思います。今日はそのあたりを教育委員と行政との間で話し合

いをしていきたいと思っています。現在、冠鷲プロジェクトがスタートして2年目ですが、学校教育の中では朝の帯の時間帯での朝読みですとか、色々な形での努力が続いております。また、各学校では隙間学習としてクラブ活動が始まる前の時間帯に1時間学習時間にあてるなどの取り組みを行っていて、子供たちの学習環境が地域のみなさんの協力の下でできつつあります。

**当山社会教育委員** 学校現場を見てみますと、先生方も高い意識をもつて取り組んでいたいて、着実に成果をあげているなという印象です。課題としては地域との連携、家庭学習のあり方、生活リズムの改善などがあります。学校現場は頑張っていますので、学校と地域、家庭との連携が課題だと考えています。私のアイデアとしては地域防災無線線を利用して、下校時間のお知らせを流し地域全体のムード作りに利用できればと思っています。やはり、家庭での生活リズムの改善がとても重要になると思います。

**石垣教育委員** 私が教員を経験し

てきた中で何が一番うれしかったか

というところ、子供たちの可能性が開花した時の喜びです。これは教師でしか味わえないことだと私は思います。子ども達の可能性をいかに引出し、開花させるかという事が教員の目的であり、そのため地域、家庭、学校でそれぞれ役割があるわけです。その中心にあるのが学校であり、ムード作りをしていく役割があると思います。今そのムード作りを石垣市の学校ができてい

るのは、冠鷲プロジェクトの下に力が集まってきたことが要因だと思つています。地域の力、家庭の力、学校の力のベクトルをどう合わせていくのが重要です。

**当山社会教育委員** やはり私たちの目的は子供たちが健全に健康に育つて欲しいという事が第一です。学校を経営する人たち、校長や教頭、現場の先生たち、地域のリーダーがこの子供たちを将来どういうふうにして社会の中で生きていく力を付けていくのかも大変必要になつてくると思います。成績だけの教育ではなく、人間としてどう生きるかという教育を当然、家庭と地域と行政で力を入れていくべき

だと思っています。現場の考えと子供たちの考えのミスマッチを少なくして、子供たちが行きたいと思うような学校づくりも大事じゃないのかなという気がします。

**嵩田教育委員** 家庭を預かる親としては、基本的な生活習慣はとつても大事だと思つていますが、ただ今家庭の現状としては皆が公務員的、サラリーマン的に土日祝日休みで、夕方には帰宅できるというような状況の家庭ばかりではなく、両親が共働きで、しかもシフト制で働いている家庭は朝早かったり夜は深夜までシフトが組まれていたり、なかなか子供とじっくり触れ合う時間が取れない、両親がいない現状もあると思います。このような家庭環境にいる子供達のケアも地域全体、学校、行政とで温かく見守って、楽しく学校生活を送れるようにしなければいけないと思つています。早寝・早起き・朝ごはん、そして家族の団らんが子供たちが健やかに健全に育っていくベ

**浦崎社会教育委員** 以前、子供を



供は語彙(こい)能力が無いと言われました。だからできるだけ一緒に図書館に行つて本から色々な言葉勉強させてください。難しい言葉は辞書で調べながら言葉の能力を伸ばす方法はいくらでもあるので、子供の語彙能力を伸ばすのはお母さん次第ですよと言われました。今子供が通っている学校の担任の先生は毎朝子供たちにスピーチをさせて、子供たちが人の前で発表する機会を与えて、人に物事を伝える能力を伸ばそうと取り組んでいます。その先生の取り組みはとても素晴らしいなと思っています。だから私は子供に家庭学習の時間に難しいかもしれないけど新聞を読むように勧めています。いろいろな言葉が新聞には出てきますので子供がいろんな言葉を覚えてくれますので、本や新聞を読むことは大事だなあと感じています。やつぱり、言葉も含めて一般教養のレベルを上げていかないと、いざ社会に出たときに相手が話している意味さえ分からない事に陥つてしまい、そこで立ち止まつて子供の成長が止まつてしまうという事は非常に残念なことです。石垣島の子供たちが将来、グローバル社会で通用するレベルまで語彙能力を上げてあげないといけないなと感じています。

**当山教育委員** 個々人の語彙能力をあげて、大人としてしっかり会話できる社会性を育むことが家庭の中でされていないという現状があるようです。家庭の中でしっかりとした教育をして学校に送り出すことも

大切ですね。

**中山市長** 私は石垣島の子供たちにまずは島外に積極的に出て行つて欲しいと思っています。大学進学や就職で一回島を飛び出してみて、広い世界を見てきた方が視野が広がって将来的に子供たちの為になると思っています。新空港が開港して国際線が飛ぶようになる」と語学力のある人材が必要になります。これまで語学力があつても島でそれを活かす場がありませんでした。しかし、新空港が開港したことで外国語の話せる人材の需要ができ、石垣島で働く機会が昔より増えた事で、本土でたくさん勉強して、また石垣に帰つておいでと言える時代になっていると思います。先日の達成度テストでは成績の伸び率が良かったと聞いています。これは冠鷲プロジェクトの成果だと思っています。基礎学力を伸ばすことは最低限必要なことで達成度テストも満点を取らなければいけないと思っています。もし、基礎学力の部分で学校単位にバラつきがあるのであれば、学校任せではなくて教育委員会が「この時間は帯でかならず〇〇〇をやつてください」などを決めて、石垣市はこの時間は必ずこれをやるんだという事で全学校の基礎学力を上げることができると、子供たちの間にも一体感がつくれるのではないかと思います。

**石垣教育委員** 冠鷲プロジェクトは見える学力だけを伸ばすのではありません。「知・徳・体」で特に「徳」

の部分強調しています。心を育てるという事を絶対に怠つてはいけません。将来何になりたいのかというキヤリア教育も推進していますので、子供達が将来何になりたいのか、そのためには何をしないといけないのか、そのうのを意識させることが必要であり、それが私たちの取り組んでいる冠鷲プロジェクトに繋がってくるのです。ですから、その中で「知・徳・体」のどれも疎かにできませんので、総合的に上げていき、子供たちの人格形成の基礎を作つていく事を私たちはやっているんだという気持ちです。

**高木委員長** 冠鷲プロジェクトで推進している放課後の隙間学習について、新川小学校の取り組みが非常に良いので是非、中山市長にも一度見学に行つて頂きたいです。ボランティアで保護者の方々が一生懸命取り組んでいますので、中山市長が訪問するだけでも皆さんに励みになりますので、よろしくお願いします。

**玉津教育長** これまでの石垣市の子供たちの才能はスポーツ、芸能と素晴らしいものがあります。これは地域の人たちの努力の成果でもあります。ただ、教育委員会としては「知」の部分をもっと伸ばしていかなければいけないと考えています。スポーツ、芸能はこれまで通り頑張ってもらつて、我々教育委員会は「知」の部分に焦点を絞つてやつて行くじゃないかというのが今の冠鷲プロジェクトの狙っている所です。しかし、地域の協力なくしてこのプロジェクトを進めてい

く事はできません。県内の他の地域では村ごとに、公民館単位ごとで地域が婦人会、青年会、老人会ごとに子供達の教育に関して役割分担をして指導している地域もあります。こういった地域ぐるみの教育といった点が今の石垣市には不足している部分です。私たちはそういう地域の方々の力を行政が音頭を取つて結集するような組織を作つていく事で、学校、地域、家庭が良い教育環境、雰囲気を作つていけるものだと思います。

**中山市長** 教育委員会と行政とは形的には別組織となりますが、石垣市の子供達は我々みんなで育てていかなければいけないので是非、地域を巻き込んだ形で子供たちに良い教育環境づくりをしていきたいと思っています。

